



浅尾の近くで...

世界初のビーチ相撲

コンフィデンシャル



夏が近づくとビーチの季節がやってくる。色鮮やかな水着が目に見える。そんななか、フルな砂浜で、開催されたものは、なんぞ相撲。そんな光景が全国でお目見えする。元幕内・玉海力の河辺幸夫さん(41)が、昨年からは世界初の「ビーチ相撲」を創設し、大会を開催した。相撲を取る楽しさを知ってもらい、青少年の健全育成にもつなげるのが狙いだ。小学生を中心に輪が広がり、今年日本相撲協会の後援も得て、全国の各所でイベントが開催される。

知多の海浜リゾート開催
ウインドサーフィンが盛んな知多の海浜リゾートで、浅尾美和が出演したビーチバレーの会場も、すくなくにある。愛知県知多市の新舞子マリナパーク。ル・サンビーチ。昔ながらの家族連れでにぎわっている。の砂浜に、河辺さんには海水パンツをはきまわしを締めて登場した。



女性も盛り切ってます
「礼儀作法、ぶつかることを教える」
「相撲はボクスの人生形成の中心。相撲があったら、自分がある。今でも大好き。少しでも恩返しを」
「相撲はボクスの人生形成の中心。相撲があったら、自分がある。今でも大好き。少しでも恩返しを」
「相撲はボクスの人生形成の中心。相撲があったら、自分がある。今でも大好き。少しでも恩返しを」

元幕内・玉海力が仕掛け人

か。おもしろい。世界界への恩返しも考えていた。た。

ビーチ相撲で元玉海力・田島太一郎さん(左端)を相手に相撲を楽しむ参加者たち。愛知県知多市の新舞子マリナパークで

◆ほかにあるぞビーチ化スポーツ
▽ビーチバレー 日本では浅尾美和が人気の火付け役。96年アトランタ五輪から正式種目。
▽ビーチサッカー 1チーム5人、前後半各10分で試合。
▽ビーチバスケットボール 80年代に米国で開始。すでに世界選手権が行われている。
▽ビーチハンドボール 10年ほど前にヨーロッパ、南米で開始。1チーム4人。
▽ビーチフットボール 1チーム5人。ぶつかり合いはなく、両手で相手の体にタッチすればタックル、成立。
▽ビーチレスリング 半屈3分の円内で行い、両肩が砂についたらフォール。
▽ビーチプロレス ハッスルの主催者が検討中。ビーチ版インリンも登場するか。

「河辺さんへの活動は、小学生を中心としており、教育の一環としておこなっています。それ、相撲をやめた人でも、その経験をかして相撲に携わるのは素晴らしいこと。こういう人がいれば、相撲協会としてできる限り協力していきます」という。
新舞子でのイベントには、幼児からお年寄りまで

▼河辺幸夫(元幕内玉海力) 1966(昭和41)年7月16日、東京都渋谷区生まれの41歳。82年奇場所初土俵。89年秋場所新十両昇進。91年秋場所新人幕内。最高位は前頭8枚目。格闘技界にも進出、パンチレス「チム玉海力」を結成し、練習生の指導にあたりている。



ビーチ相撲について話す元玉海力・河辺幸夫さん

confidential